



2023-2024年度
RI会長
ゴードン R. マッキナリー
RIテーマ
CREATE HOPE in the WORLD

国際ロータリー第 2830 地区

八戸北ロータリークラブ 会報

ガバナー ● 築館 智大 会長 ● 小林 弘文 幹事 ● 平野 薫 SAA ● 久保 隆明

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6 八戸プラザホテル内
TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

<https://8kitarc.com/>

例会日：毎週火曜日 12:30 開会



5月 青少年奉仕月間

vol.35

第 2567 回例会 2024.5.14

12:30 ~ 八戸プラザホテル
司会：吉田美登紀副 SAA

RI テーマ
点鐘

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング
- ・四つのテスト

ゲストの紹介

八戸学院大学 佐藤千恵子教授
八戸学院大学4年 松岡 奏さん

誕生日祝い



北山輝夫会員

会長要件

千葉哲也会長エレクト



こんにちは。今日は新潟県生まれの建築家、前川國男の誕生日です。日本モダニズムの旗手、代表作に東京文化会館等があります。

先日ご紹介した『社員教育デイリーウェブ』で「ゼロベースとトレンド思考」が記載されておりました。「ゼロベース思考」とは自分が持っている経験や価値観等を取去りゼロから考え始める思考方法。しがらみにとらわれない本質的なアイデアを生み出したいとき有効です。対極にあるのが「トレンド思考」。過去の経験や知識を拠り所にし、よりよいアイデアを得ようとする事です。最近では価値観の多様化により「トレンド思考」より「ゼロベース思考」がよく用いられているようです。

今週末、地区研修協議会がありますので来週の例会でその報告をしたいと思います。「ゼロベースとト

レンド思考」をベースにこの会の運営をしていきたいと思っておりますので、皆さんよろしくお願ひいたします。

幹事報告

吉田悦子直前幹事



- ◎八戸西RCよりメーキャップのお知らせ
6月11日(火) 次期ガバナー補佐、会長エレクト
- ◎現・次年度合同会長幹事会議開催のご案内
6月6日(木) 18:30 ~ 八戸パークホテル

親睦委員会

澤口忠彦会員



ニコニコBOX

北山輝夫会員：誕生日、お祝いありがとうございます。

源新育子会員：佐藤先生、本日はよろしくお願いいたします。

千葉清彦会員：佐藤先生、本日はよろしく。

米山記念奨学金

奥井義則会員：

千葉清彦会員：

澤口忠彦会員：

ポリオ・プラス

大入武志会員：

出席報告

本日の出席率	49 %
前々回 (4 / 16) の修正出席率	65.8 %

外部卓話「こども食堂について」

八戸学院大学

佐藤千恵子教授



皆さんこんにちは。皆さんからお米をいただけるということで学生と一緒に来ました。今日は学

生が発表しますので是非お聞きいただきたいと思
います。よろしくお願いいたします。



ゼミ生 松岡 奏さん

こんにちは。これから離乳食教室、子
ども食堂へ参加して学んだことを発表しま
す。よろしくお願いいたします。

始めに八戸学
院幼稚園で実施
している「離乳
食教室ふるふる」
についてご
紹介します。ベ
ビーマッサージ
、離乳食の試



食・作り方の説明、子育ての悩み相談を受け付けて
います。ベビーマッサージは専門のインストラク
ターの先生をお招きして実施しています。前半は赤
ちゃんを対象としたマッサージ、後半はお母さんを
対象に軽い体操を行ないます。その間に野菜やそう
めんを裏ごしして離乳食を作り、体操後に試食をし
てもらいます。味付けをしなくても食材そのものの
味が良いことを伝えます。参加者は食事しながら子
育てや離乳食に関する事を佐藤先生に相談したり
、他のお母さん方と意見交換していました。参加
者の多くは八戸学院幼稚園に入っている子どもとお
母さんが多く、中には未就園児もおります。

二つ目は、白
山台にある「み
んなの森のはら
キッズ」で実施
した「離乳食教
室ふるふる」を
ご紹介します。
ここは離乳食教



室に興味・関心をもった満6ヶ月～18ヶ月の親子
が対象です。ここでの参加者は少人数なため、佐藤
先生が一人一人の話を聞いたりアドバイスをしてい
ます。時間のある時は絵本の読み聞かせをすること
もあります。1歳未満の乳児が多いため言葉は理解
できないと思っていましたが、声を聞いたり絵本を
見たりすることで笑顔になったり反応があったので
とても嬉しかったです。

次は長者地区で行なわれた子ども食堂をご紹介します。
コロナの時期は休業していましたが、昨年4
月から再開しています。私たちは昨年10月にボラン
ティアでお邪魔しました。歯と口に関するクイズ付
きの紙芝居を読んだところ賑やかに参加している様

子でした。歯ブラシとシールを配り、マイ歯ブラシ
を作ってもらおうと笑顔で楽しそうに取り組んでいま
した。その後、皆で楽しくご飯を食べました。

私は2年生から佐藤ゼミに所属し、活動の一環と
して子ども食堂や離乳食教室ふるふるに参加してき
ました。離乳食教室では食事や栄養に関する知識を
もち、子育て経験者の佐藤先生からアドバイスがも
らえるので、子育てが初めての方からは安心した様
子がみられました。また、同年代の子どもを持つお
母さん同士で情報共有している様子が見られました。

子ども食堂では様々な年齢の人達と関わりを持て
ます。学区を越えて来ている小学生や高校生ボラン
ティア、食事を作る食生活改善推進委員等が関わっ
ており、多世代交流の場になっています。家庭環境
に事情を抱えていても子どもは平等です。子ども食
堂は貧困の人が来る所だと思われがちですが、抱え
ている問題はそれぞれ違っても、大人でも誰でも参
加できる場所だと思います。

最後に子ども食堂の今後の課題について私なりの
考えをお話したいと思います。一つ目は子ども達と
ボランティアとの関わり方の少なさです。せっかく
色々な人達が集まっているので関わりを持つ必要が
あると感じました。二つ目は子ども達が料理作りに
参加していないことです。例えば配膳や飲み物の準
備や食器の片付けは一部の子どものみがやってお
り、皆で参加すると良いと思いました。料理をする
楽しさや有難さを感じられると思います。三つ目は
保護者の参加が少ないことです。参加することで保
護者同士のコミュニケーションの場にもなると感じ
ました。四つ目は子ども食堂は貧困の人が来る場所
という認識の人が多いことです。誰でも気軽に参加
できるので周知の必要性があると感じました。

ご清聴ありがとうございました。

地区補助金事業 贈呈式

「子ども食堂」支援としてお米の贈呈



点鐘

(誤字脱字がございましたらご容赦ください)